



ロータリー:  
変化をもたらす

## 弘前アップルRC週報

国際ロータリー第2830地区  
弘前アップルロータリークラブ  
創立: 2012年6月1日



事務局 & 例会場  
〒036-8086 弘前市田園1-12-1 iAネットワーク棟内  
TEL: 0172-27-1333 FAX: 0172-27-1245

例会: 毎週水曜日 19:00 ~ 20:00

会長: 木村 由美 幹事: 澁谷 明広

### 2017.08.23(水) 第206回例会

- ◆ 点鐘及びテーマの唱和  
木村 由美会長
- ◆ ソング 「それこそロータリー」
- ◆ 4つのテスト 宇野 純子会員
- ◆ ゲスト紹介  
辻 正太 様  
(BOLBOP津軽ワークス事業部長)
- ◆ 握手タイム
- ◆ アピールタイム
- ◆ 幹事報告
- ◆ 委員会報告
- ◆ プログラム  
外部卓話 辻 正太 様  
「弘前にまちの学校をつくる」
- ◆ 閉 会

下がらなかったのが関場先生の病院へ行きましたところ、インフルエンザと診断されました。息子たちも次々とかかりまして、男性3名が全滅でした。

### 幹事報告

#### ・澁谷 明広幹事

・9月18日に五所川原イブニングRCチャーターナイトが行なわれます。登録の締め切りが8月末です。当クラブの5周年記念式典へも来てくださった方がメンバーにいらっしゃいますので、できるだけ多くの会員が参加して下さることを望みます。

・地区大会が10月7-8日に十和田市で開催されますので、ご参加をよろしく願いたします。

・10月の7日と8日、地区大会が行なわれます。7日、富士屋グランドホール、8日、市民文化センターです。初日は会長幹事会、RI会長歓迎晩餐会で、2日目が本会議です。本会議には多くの会員が参加してください。

・九州の豪雨災害義援金のお願いが来ています。理事会で対応を協議します。

・川崎RCの方からE例会についての問い合わせがありました。例会の方法を見直したいとのことでしたが、高齢の方も多いため、Facebookを利用するのは難しいとおっしゃっていました。

### アピールタイム

#### ・八木橋宣之会員

当社の10周年記念イベントを9月3日17時から20時までで行いますので、ぜひお越しください。

#### ・三浦 順子会員

今度の日曜日、陸前高田RCの永田さんがお見えになります。18時からEAT & TALKで歓迎のお食事会を行いますので、ご都合のつく方はどうぞご参加ください。

#### ・小林 伯裕会員

8月1日から12月10日まで、比叡山延暦山で普段入れない場所を特別公開していますが、それに伴いまして来週から説明員として行ってきます。

#### ・澁谷 明広会員

8月9日にハワイから弘前に帰ってきました。お土産をどうぞお食べください。10日になりましたら発熱、節々の痛みがあり、休日診療所を受診しました。小児科担当が関場先生でして、『熱が下がらなかったら明日、うちの病院はやっているから』とのこと、熱が40℃から

### 委員会報告

#### ・八木橋宣之奉仕プロジェクト委員長

カルチャアロードの説明会が28日にあるので、行って来ましたらまたご報告いたします。

### その他のトピックス

今月のお誕生日の方をお祝いします。今月は、上田勝会員、小林伯裕会員です。  
バースデープレゼントは、阿保会員のお店「けや木」の1,000円商品券です。



### お誕生日の方から一言

・小林 伯裕会員

36になりました、会費が7000円になって更に1年が経ちました。引き続き頑張ります。

# HAPPY BIRTHDAY



### プログラム



・辻 正太 様  
テーマ「弘前にまちの学校をつくる」

改めまして、株式会社BOLBOPの辻と申します。よろしく申し上げます。

今日は「弘前にまちの学校をつくる」ということで、実際まだ学校をつくり始めているわけではないのですが、土手町に大人も子供も学びあえるような学びの拠点をつくろうと動き出しているところです。僕がどういう人材を育成していくかということについて、長いこと学校に勤めてましたので、その時に子供たちに向けて話していたようなことを少しお話したいと思います。➤

まずは自己紹介をさせて下さい。出身が奈良県の吉野という所です。吉野と言えば桜の名所で世界遺産にもなっている所ですが、実際に弘前に来てみて弘前の桜の方が遥かに綺麗だと痛感しています。

奈良県の西大和学園という中高一貫校に6年間片道2時間掛けて通いまして、それから東京大学教育学部で身体教育学を学んでおりました。

卒業してすぐの2005年に埼玉県県の私立の中高一貫校で体育の教員として赴任しまして、そこで11年間先生をやっていました。担任とサッカー部の監督をずっとやって参りました。

いろいろと教員生活に思うところもあり、2011年の震災の辺りからこれからの教育はこのままで良いのかと悶々と考えることがずっと続きまして、いったん外に飛び出してみようということで2016年4月に今の株式会社BOLBOPに転職しました。

東京にある会社なのですが、4ヶ月くらい準備をしまして、福井県鯖江など何店舗もある中で弘前のオフィスの立ち上げということで、昨年の7月に弘前に移住をして1年ちょっと経ったところです。

そして、今年の4月29日にパークホテル斜向かいの西谷ビル1階をお借りして、カラーリングスペースHLS弘前を開設しました。

BOLBOPという会社が何をやっている会社かと言いますと、もともとは東日本大震災が起きた時に気仙沼にボランティアで入っていた人間が集まって作った会社です。

2012年1月から社長の茂木がマッキンゼーを辞めて1人で現場に入って1年間ずっと活動してきて、やはり1人では厳しいということと、ボランティアがどんどん少なくなっていく中で継続的に支援していくには会社の事業としてやっていかなくては厳しいということでBOLBOPという会社を立ち上げました。

一番最初にやっていた事業は、全国に支社があるような会社の研修を気仙沼などの被災地で行ってもらい、現地にお金が落ちるような仕組みを作ることでした。一度現地に入ると、もう一度行きたいという気持ちになって下さるので、そういう人をどんどん増やそうということで2013年以降継続して行っています。

ただそれはあんまり儲かる仕事ではないので、経営コンサルティングや人事コンサルティングを行ってお金を作って被災地に持って行くという形です。

経営コンサルティングですとアシックスさん、また東京メトロの技術者の技術伝承のお手伝い、人事コンサルティングは広島造船業の人事制度の入れ替えなどをしています。

そんなに大きくはないですが、経営者とかコンサルタントとか特殊な人間が集まって作っている会社です。私はもともと学校の教員なので教育事業のところと、技能伝承のところを担当しています。

私が今やっているのが、HLS (Heart Lighting Station) 弘前という名前、BOLBOPの弘前オフィスとして4月29日にオープンしました。世代や地域を越えていろんな人がそこで学びあえるような場を作ろうということで開設しました。

昨年の7月にこちらに移住した時にはまだ何をやるかというのははっきり決まっていなかったのですが、いろんな活動をされている人に出会う中で、それらの活動が有機的に繋がっていないもったいなさを感じました。⚡



そういう人たちがリアルに繋がれる場であったり、そういう大人たちと共に子供たちが育って行けるような人材育成の場が必要なのではないかと思いました。

学生は登録だけしてもらえれば無料で出入り自由なので、授業の合間に来てくれたりという形で勉強してくれています。社会人の方からは一部お金をいただいて「コ・ワーキングスペース」という形で使ってもらっています。

弘前大学の子たちと話をすると7、8割は公務員になりたいと言います。公務員も大事な仕事なのですが、皆公務員になってしまうとどうなるかと思うところもあります。

いろんな大人とここで対話をしてもらって「そういう選択肢もあるんだ」と視野を広げていただきたいので、来ていただいた社会人の人を紹介して繋いだりしています。

ここから、私がなぜ教員を辞めたのかという話をさせていただきます。きっかけになったのは、2011年頃にニューヨークタイムズに掲載された「2011年に小学校に入学した子供の65%は今はまだない職業に就くだろう」という記事です。これが結構衝撃でした。今までは、自分がやってきたことをそのまま学校で教えていけば変な話何とかなったわけですが、学校の先生も自分の知っていることだけやっていてもどうにもならない状況になっていきます。

今はまだない職業という想像しづらいのですが、例えば私が大学に入学した2000年頃にインターネットがやっと各家庭に普及しました。当時はIT系の仕事はあまりありませんでしたが、今は一番稼げる仕事になっています。今話題のYou TuberというYou Tubeに動画を上げてお金を稼いでいる人たちも、今までだと考えられなかったわけですが、小学生に将来なりたい職業のアンケートを取るとランキングの5位以内に入るほどです。

このように自分たちが知らないことを子どもたちに教えて育てていくというのは苦しいと感じていて、もう学校の中だけでは教えきれないという感覚がありました。

私が教員をしていた学校では東大に何人送り込むかというのが私のミッションで、辞めた年は自分のクラスから17人東大に送り込みました。しかし、ただただそれをやってもあまり意味が無いというか、もうちょっと本質的な所を考えなければいけないのかなと思い教員を辞めることになりました。

大人が子供に何かを一方的に教えるという時代はもう終わってしまうと思っていて、大人と子供が一緒に学び合える場所を作りたいと思っています。

大人も子供も学び合う上で学校とはどういう場所かということ考えた時に、学校は失敗して学ぶ場ではなくてはいけないと言われていたのですが、今は逆に子供たちにできるだけ失敗させない場になってきています。

その方向に進むとほとんど失敗が出来なくなってしまいます。そうではなく、失敗をどんどんさせて挑戦したことを称える場にしていかなければなりません。

それは大人も一緒に、大人もできるだけ失敗しないようにやっているのですが、そうすると挑戦する人がどんどんいなくなってしまう。

そこで大人も子供も安全に失敗できる場所を作り、挑戦する人をどんどん増やしたいと考えています。

実際、大人が子供から教えられることもかなり増えてきているというのが実感としてあります。➤

例えば、スマートフォンの使い方一つとっても、子どもの方が使い方を遙かに知っていて、私もよく来る大学生にインスタグラムの使い方をレクチャーしてもらったりしています。

最後に、子供達にどんなことを意識して学んで行ってほしいかということで、これからの21世紀の社会課題というのは、「有限の地球」「少子高齢化」「情報の爆発」の3つに集約されると東大の前の総長である小宮山宏氏によって提唱されています。こういった本質的問題にアプローチできる人材を育てていかなければいけないよと話しています。

また、もう他人とは思えないという関係をいろんなところで作っていこうと伝えています。



### 会長の言葉

#### ・木村 由美会長

辻さん、今日は壮大なお話本当にありがとうございます。そしてお声を掛けて下さった境さん本当にありがとうございます。

職場が同じ土手町というご縁と、私も辻さんの奥様と同じ鱒ヶ沢の出身というご縁に驚いています。

私がなぜ土手町に開店したかという、20歳の頃に土手町をブラブラ歩く「土手ブラ」というのがすごく流行りました。その当時は自転車を通るのも大変でしたし、歩くのにも人と人がぶつかり合っていた時代でした。

今は誰も歩かなくなった土手町を活気付けたいという思いで5年前に縁があって今のお店に入ることが出来ました。最近では辻さんがいらっしゃったりと土手町が明るく変わってきていると感じます。

近い将来、我々も辻さんと一緒に何らかの活動をしていることと思っています。本当に今日はありがとうございました。





## ニコニコBOX



・木村由美会員：辻正太様、ようこそアップルRCへ。卓話楽しみにしていました。同じ土手町、このご縁を大切にしていきたいです。

・関場慶博会員：辻様のお話しを楽しみにしています。

来月のミャンマーでの小児科学会の発表スライド作りで(英語なので)悩む日々を過ごしています。

・三浦順子会員：幹事、おだいじになさって下さい！！

・小林伯裕会員：久しぶりの例会参加です。辻さん、卓話楽しみにしております。

・宇野純子会員：辻さん、今日は我がロータリークラブにようこそ。  
大曲花火大会楽しみです。7月8月は行事がたくさんで疲れたけど楽しかった。

・成田学会員：辻さん、ありがとうございます。体調に気をつけましょう。

・田中訓会員：今日でやっと夏休みが終了し、一段落しました。今年はまだあまり天気がよくなかったのが、夏を満喫出来ませんでした。秋を満喫します。

・八木橋宣之会員：辻さん、卓話楽しみに来ました。

### 今回の出席報告

◆出席者  
例会 10名

### 第205回E例会(8/16)の出席報告

◆出席者  
E例会 7名  
MU 6名  
計13名  
修正出席率 41.93%

会員数 : 31名 (出席義務: 31名 ・ 出席免除: 0名)

## ROTARY豆知識 超我の奉仕 ①

ポートランドで開催された第2回国際大会で、ミネアポリスRCのB・フランク・コリンズは他人のために尽くす意義と重要性を説き、RCは“Service, Not Self”(無私の奉仕)を根本精神としなければならぬと強調しました。

この言葉は、その後修正されて、1950年のデトロイト国際大会で、ロータリーの標語“Service Above Self”(超我の奉仕)として結実しました。

1989年のシンガポール規定審議会で“Service Above Self”(超我の奉仕)が第一標語に、“He Profits Most Who Serves Best”(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)が第二標語に指定され、今日に至っています。